

外出が気持ちいい、散歩には最適の季節です。 新緑の緑豊かな公園を散歩し、自然の景色や森を吹き抜ける風で心を癒してください。

○カキツバタの試験栽培について

■カキツバタ園の整備に向けて、現在苗を試験的に栽培しています。場所は、芝生広場ステージの北側の坂道を下りた水路（十念寺川）を挟んで東側です。泥が鉄分でオレンジに染まっていますがそんな環境でもたくましく成長しています。通常ならば、植えてから2年目あたりで花が咲くのですが、今回植えたいいくつかの苗は、早くも花を咲かせそうです。楽しみに待ちましょう！



①カキツバタ

★鉄バクテリアについて

鉄分の多い水源のそばでは、水底がオレンジ色に変色し、水面に油膜のようなものが張ることがあります。これは、鉄バクテリアと呼ばれる細菌によって引き起こされる現象です。鉄バクテリアは、鉄イオンを酸化する際のエネルギーを栄養にして生活しています。その時に赤褐色の沈殿物や油膜のような皮膜が水面に発生します。

※油膜と鉄バクテリア被膜の見分け方

油膜は匂いがあり、鉄バクテリア被膜は匂いがありません。油膜は触るとすぐに元に戻りますが、鉄バクテリア被膜は触るとバラバラになり、くっつきません。

★要注意外来生物キショウブについて

水辺を散策すると、黄色い鮮やかな花を咲かせるキショウブを見かけることがあります。この植物は、非常に繁殖力が強く、湿地のほかにも林床など、水辺から離れたところにまで根付く植物です。根と種、両方で増えるため、一度増えると駆除するのが困難になります。園内にもちらほら見かけるため、駆除していかなければなりません。キショウブの陰に隠れて在来のカキツバタの育成が困難になることも考えられます。花がきれいなので、残念ですが、在来の生物を守るために駆除は致し方ない処置になります。



キショウブ

★古河公方公園 Twitter 公式アカウント開設！

古河公方公園の Twitter アカウントを開設しました！公園主催のイベントや、公園の生き物、風景などの情報をリアルタイムでお届けします。みなさんぜひフォローをお願いします！

https://twitter.com/kubou_park



カラスに注意

繁殖期のカラス、特に4月から6月のカラスは、ヒナを守るためにとっても攻撃的になります。ご注意ください。

立入禁止（スズメバチ）

巣作りが終了し、働きバチが出始める6月から11月は、スズメバチが攻撃的になります。ご注意ください。

今月の鳥 【ムクドリ】

葉が茂ってきて、木の枝にとまる鳥を見つけるのが難しくなってきましたね。そんな時は地面にやってくる鳥を観察してみたいかがでしょうか。日中、地上を歩いて餌を探すムクドリの姿をあちらこちらで見ることが出来ます。椋（むく）木の実を好むことからムクドリと名付けられたそうですが、基本的に雑食で、昆虫や幼虫なども食べます。外敵から身を守るために夕方になると大きな群れを作って、捕食者の少ない街中の木に寝床を探します。今では害鳥とも言われてしまうムクドリですが、昔は農作物に付く害虫を食べてくれる益鳥だったそうですよ。



★ムクドリ

○きれいに染まるイロハモミジの実



②イロハモミジ

モミジというと、秋に葉が赤くなる風景が脳裏に浮かびますが、初夏のこの季節に鮮やかなピンクに染まる実の色彩もおすすめですよ。散歩がてら新緑の中にひっそりと色づくイロハモミジの実を探してみたいかがでしょうか？

